

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念は職員全員で考えているのでその内容をしっかりと共有し実践に繋げることができている。			今後も職員同士で理念の再確認を行うなど、理念の共有と実践をしっかりと行っていきたい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との交流は期待しているよりもできていない。大きな行事のときや運営推進会議のときだけである。	感染症の状況に合わせ柔軟な対応ができています。夏祭りは入居者主役の行事に完結され地域との繋がりが十分に達成されており、今後の取り組みを期待する。		次年度は町内の行事への参加を増やすなど地域との繋がりをより一層深くしていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では様々な意見や提案をいただいている。そしてそれを業務に活かすことができている。	運営推進会議で出た意見は業務に活かされサービス向上、入居者・家族の安心につながっている。		今後も運営推進会議で出た意見を運営に最大限反映させることができるよう取り組みを強化していきたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者和との連携は密に図られている。事業所の実情報告は主に運営推進会議の場で行っている。	地域ケア会議や運営推進会議での情報共有がなされているなど連携、協力関係構築が十分に図れている。		今後も行政との連携を密に図り良好な関係性の構築を図っていきたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化委員会の設置、内部研修会の実施など、身体拘束をしない取り組みに力を入れている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	次年度は身体拘束防止に関する内部研修だけでなく、外部の研修にも積極的に参加していきたい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会の設置、内部研修会の実施など、虐待防止の取り組みを強化している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待は決してあってはならないことである。今後も定期的な内部研修の実施や外部研修への参加を通じ、各職員の虐待防止への意識を高めていきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護に関する制度については各職員勉強中である。内部研修会を通してなど取り組みを強化している。			権利擁護に関しての理解は難しい部分もあるが、少しずつでも良いので各職員の知識が深まるよう研修を実施していきたい。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約は十分な時間を設けしっかりと説明している。疑問点などに対しても納得のいくまで丁寧な説明を行うよう心掛けている。			契約時はこれまでと同様に利用者・家族への説明をしっかりと行い、疑問点や不安点に丁寧に対応できるよう取り組んでいきたい。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者からは普段の関わりの中で意見の聞き取りを行っている。家族からは面会時や電話での会話の中で聞き取りを行っている。頂戴した意見は運営に反映させるよう取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も利用者と家族からの意見や要望に真摯に耳を傾け、しっかりと運営に反映できるよう取り組んでいきたい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営に関する職員の意見や提案は全体会議やユニット会議、不定期の面談時に聞き取っている。出た意見は実現可能かどうかも含めできる限り反映できるよう検討している。			運営に関する職員の意見の聞き取りは全体会議やユニット会議がメインなので、次年度も会議を定期的に行い出た意見はしっかりと運営に反映させていきたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	給与は毎年規定に基づき昇給がある。やりがいや向上心を持って業務に当たれるよう各職員の得意分野を把握し任せるようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	就業環境の整備については、今後も法人としての取り組みをより一層強化し、より良い職場環境となるよう努めていきたい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修は毎月実施している。外部研修も回数は多くないが極力参加できるよう勤務を配慮している。普段の業務でもベテランからの指導など、各自が成長できる取り組みを実践している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	次年度も内部研修や外部研修への参加を通じ各職員の知識向上、スキル向上に努めていきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同業者との交流は地域包括ケア会議の場や外部研修の場くらいに留まっていたり多いとは言えない。			今後も同業者とのネットワーク作りは丁寧に行っていきたい。また、そこで得られた情報をサービスの質の向上にしっかりと繋げていけるよう取り組んでいきたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	グループホームは家なので、その家で暮らしを共にしている家族という感覚を大事にしている。			入居者と職員が家族のような雰囲気の中で共に暮らしを共有できるよう今後も努めていきたい。

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や友人、知人などとの面会が十分にできるよう支援に努めている。家族からは面会がある程度自由にできることは好評である。	馴染みの人との交流は精神面で活性化に繋がることが期待される。面会時間の工夫などもされており施設側の努力を評価する。		馴染みの人との交流は誰にとっても人生において大事なことである。それが途切れないよう最大限の支援を今後も継続していきたい。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者各自の生活習慣や暮らしへの思いは本人や家族からの聞き取りを行い把握するようにしている。			今後も利用者一人一人の意向や暮らし方、生活習慣を把握し、その人がその人らしい生活を送ることができるよう支援を行っていきたい。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランは3か月毎にアセスメント、モニタリングを行い見直している。現状の把握に努め状態に合ったケアプランを作成するよう努めている。	利用者一人一人のケアプランはきめ細かく作成され、日頃の満足度がそのプランの的確さを実証している。今後も入居者・家族の要望を反映したプランを作成してほしい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後もアセスメントをしっかりと行い利用者一人一人の状態を把握し、それぞれの状態に合ったケアプランを作成していきたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間の情報共有は介護ソフトを活用した記録、申し送りノート、口頭での情報伝達、これらを駆使しながら実践している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者各自の介護記録、口頭での申し送り、申し送りノートの活用など、今後も情報共有をしっかりと行い介護計画の見直しに活かしていきたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ニーズはその時々で変わってくるので、本人や家族とのコミュニケーションを大事にし、できるだけニーズを把握し柔軟に対応できるように努めている。	入居者の状態に合わせてその都度適切な対応がなされている。今後も柔軟なサービスの提供を継続してほしい。		今後も利用者の状態の変化に応じた柔軟な対応ができるようしっかりと取り組んでいきたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活用できる地域資源の把握や利用者一人一人の残存能力の把握に努め、本人がその残された能力で自分らしい生活ができるよう支援している。	入居者一人一人のできること・できないこと見極めた上でしっかりとチームケアができている。町内会や地域ボランティアとの繋がりをもっと緊密に図り、入居者の幸福感に直結させてほしい。		地域資源の把握・活用にもっと力を入れていきたい。地域との繋がりについても今後より緊密に連携を図っていきたい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内科的な部分については訪問診療にて対応している。その他、外科的なものなど内科では対応しきれないものに関しては適切な病院への受診を支援している。			医療との連携はしっかりとできている。今後も様々な病状に対して適切な治療、処置が迅速に行われるよう医療との連携を強化していきたい。

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入退院時は病院の相談員との連携を密に図り、できるだけ早期に退院可能となるよう情報の交換に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	早期に退院できることは利用者・家族にとっても良いことである。入院時は慣れ親しんだ環境に早く戻れるよう病院相談員等との連携をしっかりと行っていきたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合の対応や看取り介護については、その詳細を家族へ丁寧に説明し、不安点などが解消され納得を得てから看取り介護を開始している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化や終末期の対応については契約時に家族に詳細を説明している。また、看取り介護開始時にも改めて説明し納得をいただいている。看取りに関することは大事な部分なので今後もしっかりと説明を行っていきたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時の対応については内部研修にて訓練を実施している。また、マニュアルも整備し、職員がいつでも閲覧できるようにしている。			急変時対応・緊急時対応については内部研修を実施している。次年度もこういった研修を継続し、職員各自が迅速に対応できるようになることを目指していきたい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に2回、火災と地震を想定した訓練を実施している。日勤帯・夜間帯どちらも想定してのものである。	災害は予測不能な部分があるので今後も色々工夫しながら訓練を実践してもらいたい。また、訓練を重ねることで職員もスムーズに動けるようになると思う。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災・地震発生時の訓練を年に2回実施しており職員のレベルも上がっている。災害は命に関わる重大な問題なので、今後も定期的な訓練を実施し、災害時にベストな対応ができるようより一層取り組みを強化していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者のプライバシーには細心の注意を払っている。不適切な声掛けに対しても厳しく指導することに取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後も各利用者の人格を尊重し、丁寧な対応で支援を行っていきたい。また、内部研修にて権利擁護についてもしっかりと学びの機会を設けていきたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	できる限り施設の都合ではなく利用者本位の生活が送れるよう努めているが、それができないときも稀にあるというのが現状である。			施設都合、職員本位になっている部分もあるので、今後は利用者一人一人が自分本位の生活が送れるように支援をしっかりと考え実践していきたい。

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立作りは利用者一人一人が食事を楽しめるよう工夫している。準備や後片付けはできる部分は一緒に行うようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も食事の準備や後片付けは利用者と職員で協力して行ってきたい。献立の工夫は、利用者各自の好みを把握しながら作成し、利用者一人一人が食事を楽しむことができるよう支援を行ってきたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取量と水分摂取量はそれぞれのチェック表にてどのくらい摂取できているか把握できるよう工夫している。			利用者の栄養状態が悪化しないよう、食事摂取量と水分摂取量チェック表を活用しながら今後もしっかりと支援してきたい。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯磨きは利用者一人一人の状態を見ながら、必要な利用者には介助を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアは誤嚥の防止、感染症の防止にも繋がるので、今後もその人に合わせた支援をしっかりと実践してきたい。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレでの排泄ができるだけ長く可能となるよう施設全体の取り組みとして支援を強化している。便秘の予防として、運動や食物繊維の多い料理の提供を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オムツの最後の手段として考えている。多くの利用者がトイレでの排泄をできるだけ長くできるようこれからも支援を行ってきたい。便秘の予防については、医療との連携、運動や食事の工夫などで対応してきたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日は毎週火曜日と金曜日で固定されている。ほとんど施設都合となっているので個々のタイミングに合わせることはできていない。			入浴は毎週火曜日と金曜日の2回となっている。今後はできるだけ利用者各自の希望日に入ることができるよう業務改善を行ってきたい。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調や生活習慣をしっかりと把握し、その人に合った休息が取れるよう支援している。			今後も利用者一人一人の状態をしっかりと把握し、それぞれが必要な休息が取れるよう支援を行ってきたい。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬については薬局から届く薬情報を各職員がいつでも閲覧できるようにし、用法や用量の理解が深まるよう取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬があってはならない。薬の目的や副作用、用法や用量を全職員がしっかりと理解することで利用者の健康維持に努めていきたい。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者に楽しんでいただけるよう日々のレクリエーションや毎月の行事に力を入れている。また、それらを通し各自が気分転換できるよう支援している。	入居者一人一人のバックグラウンドをしっかり把握し入居者各々の合った支援がなされている。今後も入居者全員が楽しむことができる行事を継続してもらいたい。		毎日のレクリエーション、月毎の大きな行事、利用者各自の残存機能を活かした取り組み、これらを今後も継続し、利用者一人一人が充実した日々を過ごせるよう支援を行っていききたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出については利用者一人一人の希望通りの支援ができていない。ちょっとした外への散歩やレクリエーション、大きな行事の際に外出しているくらいとなっている。	外出は気持ちのリフレッシュにも繋がる。外出対応は職員の数や事故が起こるというリスクもあり、職員の負担も大変だと思うが今後も支援を継続してもらいたい。		今年度は外出支援の機会が少なかった。次年度はドライブや散歩、外食など、外出レクに力を入れていきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	様々なトラブル防止のため基本的には個人でお金を持つことは禁止している。ただ、本人や家族の強い希望により現金を持っている利用者も現在一部おられる。			金銭を所持していることで安心される利用者もいる。今後も家族と相談しながら、金銭の所持について支援を行っていききたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事務所の電話を使うことで家族や友人などへの電話を支援している。手紙のやりとりは希望や機会があれば支援するがあまり見られない。			面会になかなか来れなくても親しい人と電話で会話するだけでも利用者にとっては嬉しいことである。今後も馴染みの人との交流が途切れないよう支援を行っていききたい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設内は基本的にバリアフリー対応となっており安全かつ移動のしやすさを確保している。利用者が共に過ごす共有空間については、季節ごとに飾りつけを変えるなど工夫している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後もホール内や居室前の壁への飾り物など、十分に四季を感じることができるよう工夫を行いたい。また、共用部分は清潔感のある空間を整備し、居心地の良い環境を作っていききたい。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人一人の思いや意向を第一に考え、それぞれの利用者にとっての生活を満足してもらえよう支援している。			今後も利用者一人一人の思いや意向の把握に努め、その人がその人らしい暮らしを送れるよう支援を行っていききたい。

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や生活習慣を本人や家族から詳しく聞き取り、それらがしっかり普段のケアに反映されるよう取り組んでいる。			今後も利用者一人一人の生活歴や生活習慣をしっかりと把握し、利用者一人一人に適切なケアができるよう取り組みをしっかりと行っていきたい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面・医療面・安全面・環境面について、医療との密な連携や利用者個々のアセスメントをしっかりと行う取り組みを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心・安全なケアの実践のためアセスメントをしっかりと行っていきたい。医療面に関してはこれまで同様に協力医療機関との連携を強化していきたい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人の生活ペースを大事にできるだけその人がその人らしい生活を送れるよう支援している。			利用者一人一人が自分の生活ペースや生活習慣を大事にできるよう今後も支援をしっかりと行っていきたい。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物や昔から大切にしている物はその人の居室に置き、安心できる環境作りなどの取り組みを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	大切にしている物や馴染みの物が近くにあることは精神的な安定に繋がる。今後もそうした環境の提供を支援していきたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	屋内で実施する行事への参加は支援できているが、残念ながら希望通りに外へ行く支援はあまりできていない。外出の頻度はレクや行事の際などで月に数回である。	外出の支援には職員の帯同や家族の協力が必要であり、できる範囲での支援を今後も継続してもらいたい。これからは雪もなくなり暖かくなるので外出頻度も増やせると思われるので頑張ってほしい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人の認知機能や理解力の把握に努め、各利用者がそれぞれ役割を感じ、楽しいと感じることができるよう支援している。			アセスメントをしっかりと行うことで利用者各自のできること・できないことを把握している。今後もアセスメントを定期的に行い、利用者一人一人の残存能力の把握に努めたい。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話は仲の良い利用者同士の席を隣にするなど工夫している。活動の場面はその利用者に合わせることができることを支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションや行事への参加、家事作業のお手伝いなど、今後もやりがいや役割を感じてもらえるよう支援を行っていきたい。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	夏祭りや敬老会などの行事、運営推進会議、ふれあいサロンへの参加、こうしたことにより少ないが地域との交流を支援している。	夏祭りなどの行事や運営推進会議の場で地域の人たちとの交流はある程度図れている。今後は交流の取り組み強化を期待する。		令和7年度は地域交流があまりできなかった。次年度は地域行事への参加など、地域との交流が盛んになるよう施設として取り組みを強化していきたい。
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者と職員は一つ屋根の下に暮らす家族ということを基本的なコンセプトとし、安心・安全・安楽な暮らしの確保を職員全員で意識し支援を行うよう心掛けています。	当地域の施設として役割を十分に果たしており、職員の献身的な勤務は町民の信頼度も高く評価されている。今後も素晴らしい認知症ケアの実践とチームワークでより良い職場環境を作ってもらいたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者一人一人が安心・安全・安楽で笑顔で暮らせるよう、今後も職員全員でより良い施設作りを目指していきたい。